

2018年は、山梨県立美術館 開館40周年です。



1978年11月3日に開館し、今年で開館40周年を迎えます。

そこで、新たな取り組みとして、

「キャッチコピー」をつくりました。

「キャッチコピー」によって、わたしたちの想いが

みなさまの心に届いて欲しいと願っています。

また、それに伴い、

ポスターのリニューアル・美術館PR動画の制作・新しいミュージアムグッズ

も発表いたしました。

「キャッチコピー」

種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

キャッチコピーについて

種をまくこと。それは未来へと希望をつなぐことです。

山梨県立美術館が所蔵する19世紀の画家ジャン・フランソワ＝ミレーの《種をまく人》は、右足を大きく踏み出し、腕を力強く振り上げて種をまく人物を堂々と描いた作品です。

まかれた種は、大地に根を張り、芽を出し、葉を広げ、花を咲かせ、実を結び、再び新しい種となります。

「種をまく」という行為に、一步を踏み出す、自分の手でなしとげる、何かが始まる、未来につながるという意味を託して、「種をまく」という言葉を選びました。

また、「世界がひらく」という言葉は、力をこめて開こうとする「世界をひらく」ではなく、自然に開いていくようなイメージを表現するため、「世界がひらく」を選びました。ひとりひとりが「種をまき」、それぞれの「世界が」開いていくイメージです。

山梨県立美術館が、皆さんひとりひとりの「種をまく 世界がひらく」きっかけになりたいという希望をこめて、そして山梨県立美術館もまた、次につながる「種をまき」、新しい「世界がひらく」ように歩み続けたいという決意をこめて、キャッチコピーを「種をまく 世界がひらく」としました。



ジャン＝フランソワ・ミレー《種をまく人》 1850年
山梨県立美術館所蔵